

社会資本総合整備計画

平成29年1月12日

計画の名称	姫路市における安全・安心で快適な都市づくり（防災・安全）								重点配分対象の該当										
計画の期間	平成27年度～平成28年度（2年間）			交付対象	姫路市														
計画の目標	<p>交通機関が集中する姫路市中心部は、街路整備を行い通過交通や集中交通の効果的な分散化を図り、播磨地域の母都市で世界文化遺産姫路城を核とした国際観光都市としてふさわしい都市基盤を形成することにより、中心市街地の賑わいを創出する。</p> <p>生活基盤を支える市町村道を整備し、最寄の鉄道駅への利便性及び安全性を高めつつ、快適で安心な複数のコンパクトで充実した地域生活圏を形成する。また、この地域生活圏相互や都心部への移動利便性及び安全性の向上を図ろうとするものである。</p>																		
計画の成果目標（定量的指標）	<p>道路交通における死傷事故を平成25年と比較して約0.5割削減する。</p> <p>公共交通乗車人員を平成25年と比較して4%増加させる。</p>																		
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		備考								
									当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)		最終目標値 (H28末)							
	姫路市内の死傷事故発生件数を調査する。								4,558件	4,329件	4,329件								
	姫路市内の鉄道・バス年間乗車人員を測定する。 (市内の鉄道・バス1日平均乗車人員) = (市内の鉄道・バス年間乗車人員) / (当該年度の日数)								159,130人/日	165,334人/日	165,334人/日								
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	926百万円	A	926百万円	B	-	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%							
交付対象事業																			
A 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H27	H28	H29	H30	H31				
A-1	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)内環状東線	現道拡幅 L=190m W=30m	姫路市						44	-		
A-2	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)内環状東線(北工区)	現道拡幅 L=210m W=30m	姫路市						317	-		
A-3	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)内々環状南線	現道拡幅 L=160m W=20m	姫路市						106	-		
A-4	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)市之郷線	駅前広場・現道拡幅 L=444m W=15~18m	姫路市						57	-		
A-5	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	修繕	幹第6号線ほか10路線	舗装修繕	姫路市						104	-	策定済	
A-6	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	交安	姫路市役所周辺地区(1)幹第7号線(安田~東延末)	自歩道整備 L=10m	姫路市						96	-		
A-7	道路	一般	姫路市	直接	-	市町村道	電共	幹第43号線	電線共同溝 L=900m	姫路市						60	-		
A-8	街路	一般	姫路市	直接	-	区画	改築	JR網干駅前地区((都)網干線ほか2路線)	区画整理 A=5.0ha	姫路市						122	-		
A-9	街路	一般	姫路市	直接	-	S街路	改築	(都)熊見線ほか1線	駅前広場・道路新設 L=832m W=16~25m	姫路市						20	-		
											合計(道路事業)					926		-	
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考			
										H27	H28	H29	H30	H31					
											合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果																		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考				
									H27	H28	H29	H30	H31						
番号	一体的に実施することにより期待される効果																		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H27	H28	—	—	—
配分額 (a)	308.1	433.1			
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0			
交付額 (c=a+b)	308.1	433.1			
前年度からの繰越額 (d)	0.0	54.6			
支払済額 (e)	258.9	396.6			
翌年度繰越額 (f)	49.2	91.1			
うち未契約繰越額 (g)	0.7	0.0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.2%	0.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	-	-			

※ 平成27年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考図面)

計画の名称	姫路市における安全・安心で快適な都市づくり (防災・安全)		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成28年度 (2年間)	交付対象	姫路市



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 姫路市における安全・安心で快適な都市づくり(防災・安全)

事業主体名: 姫路市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合し、上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
2)必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と定量的指標の整合性	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
④定量的指標の明瞭性	
1)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
⑤目標と事業内容の整合性	
1)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
⑥事業の効果	
1)十分な事業効果が期待できる。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)関連する関係機関等の調整が図られている。	○